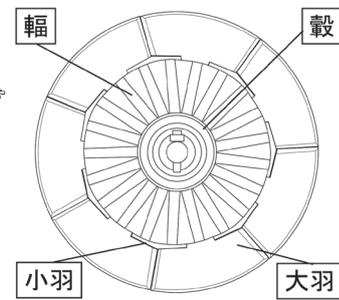


山車の車輪

初期の川越氷川祭の山車には車輪がなく、人形などを載せた輿を肩で担いでいたことをご存じですか。囃子方や舞い手を乗せ、車輪を付けて引くようになったのは後のことです。山車の車輪は、轂を中心に輻を放射状に取り付け、外側に大羽と小羽を組んで造られます。このような構造は、古くは平安時代の絵巻に描かれた牛車などにも見られ、今も京都祇園祭など各地の山車行事の車輪に受け継がれています。



川越の山車の車輪は3輪のものや4輪のもの、黒漆塗りや透き漆塗りのもの、金輪をはめているものなど、さまざまなものがあります。また、小羽を使わず、大羽に小羽形の線刻を施したのもあり、これは川越独自の造りと考えられます。写真の松江町一丁目龍神の山車もこうしたもののひとつで、大羽に松葉形のデザインを彫刻しています。町名から創意を得たのでしょうか、趣のある意匠です。

今年の川越まつりでは、豪華な刺しゅうを施した幕や人形だけでなく、山車の足元にも注目してみたいかがですか。



川越市農産物直売会



14軒の農家が集まる川越市農産物直売会。主な活動は、クレアパークで毎月第1土曜日に開催する朝市です。メンバーそれぞれが、採れたての旬の野菜を持ち寄って販売しています。

「見た目の良さも求められるスーパーなどと違い、味や鮮度を追求できるのが直売のいいところ」と話すのは会長の戸田大輔さん(下松原)。例えば味は良くても繊細で、機械で洗うと傷が付きやすい種類のニンジンなど、大量生産に向かない野菜でも、直売なら扱うことができます。「もっとたくさんのお客さんに来てもらいたいし、出店

する農家も増やしたい」と戸田さん。そのためにメンバーそれぞれが工夫をこらし、PR活動にも力を入れています。



農家の顔が見えるのも朝市の魅力

川越百万灯夏まつりでは、一番街で冷やしたキュウリなどを販売する予定です。農家のこだわり野菜、ぜひ味わってみてください。

今が旬！7月の川越野菜 市内の直売所などで購入できます

キュウリ、ナス、トマト、エダマメ、ネギ、ニンジン、ゴボウ、ウリ、コマツナ、トウモロコシ、ミニトマト、タマネギ、ピーマン、カボチャ、ミョウガ、オクラ

日差しが日に日に力強さを増してきました。太陽の光をあびて青々と葉を茂らせる木々に夏の訪れを感じます。夏らしい写真を撮ろうと市内を散策していると、元氣よく咲くアジサイ、楚々と花開いたナツツバキ、りんとしたたずまいのユリなどに出会いました。暑さに負けず、生命力いっぱい伸びる植物たちから元気を分けてもらった心地です。これから夏本番。花火大会やプールなど、楽しいスケジュールを組んでいる人も多いのではないのでしょうか。日頃から体力をつけて夏バテを防ぎ、思い出っぴいの夏にしましょう。



中院でかれんに咲くナツツバキ。シヤラノキとも呼ばれています

編集後記

どんぐり